

国際スケート連盟

Communication No. 1632

アイス・ダンス

ISU コミュニケーション第 1610 号と第 1621 号に対する訂正・追加・変更

I. コミュニケーション第 1610 号に対する訂正

1. 6 ページ, コンビネーション・スピンのレベル 2, 12 行目
(各難しいバリエーションは完全に確立した姿勢で最少 3 回転)
誤植.
2. 6 ページ, コンビネーション・スピン, レベル 3, 11 行目
(2 つを一方, 残る 1 つを他のパートナーが行う. または 3 つとも 1 人のパートナーが少なくとも 3 つの基本姿勢から行う)
誤植.
3. 17-18 ページ, ステップ・シーケンス, レベル 1, 第 3 段落の最初
エクストラ・フィーチャーを 2 つまで, …
レベル 1 のエクストラ・フィーチャーを制限する理由がないため.
4. 2 ページ, 注, 下から 5 行目 (日本語訳は下から 4 行目)
衣装のいかなる部分もリフトの支持に用いてはならない. もし用いた場合, テクニカル・パネルにより 1.0 の減点が適用され, そのリフトはボックスを占めるが得点の対象とはならない. カップルは小道具を使ったものとされ, これは規程第 612 条で禁止されているので, レフェリーとジャッジが衣装違反の 1.0 の減点を行う. テクニカル・パネルはリフトのコールの仕様にしたがってレベルを認定し, 衣装に対する減点を行わない.
衣装の減点を行うのはテクニカル・パネルではなくレフェリーとジャッジの責任であると総会で決定された.
9 ページ, リフトのコールの仕様, 最後の 2 文を削除
~~衣装のいかなる部分もリフトの支持に用いてはならない. もし用いた場合, テクニカル・パネルにより 1.0 の減点が適用され, そのリフトはボックスを占めるが得点の対象とはならない.~~
上記と同様.
5. 3 ページ, ステップ・シーケンス, 変更
もし違反の要素 (例: 1 回転を超えるジャンプ, 氷面に横たわる, 等々) がいずれかのステップ・シーケンスに含まれていた場合, テクニカル・パネルは “違反要素” とコールし, そのステップ・シーケンス全体に対して “レベル 1” とコールする
総会を通過した規程第 611 条 a) iv に従うため.

II. コミュニケーション第 1621 号に対する訂正

1. 8 ページ, ショート・ダンス, d) パターン, 3 行目
クリエイティブ・パートのパターンは常に一定方向 (時計回りまたは反時計回り) に進行しなければならない.
今シーズンにおいてこの記述は, パターン全体が常に一定方向に進行しなければならないとするショート・ダンスの規程第 609 条と矛盾する. 今シーズンのショート・ダンスに含まれるパターン・ダンスはどちらも反時計回りなので, クリエイティブ・パートも常に反時計回りでなくてはならない.
2. 9 ページ, シニアのキーポイント, セクション 2, キーポイント 1
RFIRk は削除.
ロッカーはキーポイントの特徴に含まれていない.

Milan

July 26, 2010

Lausanne

Ottavio Cinquanta, President

Fredi Schmid, Director General